

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	理工学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学位授与方針を2010年度中に明文化する。	→学位授与方針を明文化した文書。	C	B	A	A	
2. 教育課程の編成・実施方針を2010年度中に明文化する。	→教育課程の編成・実施方針を明文化した文書。	C	C	A	A	
3. 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の周知方法を2010年度中に検討し、2011年度より実施する。	→教育目標、学位授与方針、および教育課程の編成・実施方針の公表・周知状況。	B	B	A	A	
4. 上記編成・実施方針の点検を定期的に行うよう学部カリキュラムWGの業務を明文化する。	→学部カリキュラムWGの業務を明確化した文書、および点検の実施状況。	B	B	A	A	

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	学部の理念・目的のもとに学部の学位授与方針は明文化され、2011年7月の教授会で既に承認されている。
目標2	学部の教育課程の編成・実施方針は、学位授与方針に沿う形で明文化され、2011年11月の教授会で既に承認されている。
目標3	学部の教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針については、1) 「授業科目履修心得」への掲載と新入生履修指導による学生への周知、2) 教授会(4月)での教員への周知、3) ホームページ (http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/ja/modules/education4/) による外部への公開、を行っている。
目標4	学部の教育課程の編成・実施方針の適切性は年度初めの学部長室委員会で検証し、問題点がある場合は、学部カリキュラムWGでその点について検討を行うということを学部長室委員会で決定している。
備考	目標1, 2に対して、2013年4月に見直しを行ない、一部文章を修正した。